

【安全衛生管理】 頭の保護具の選び方・使い方

作業者の労働災害を防止する目的で人体に装着して使用する物を保護具と呼んでいる。保護帽、安全帯、保護手袋、安全靴、絶縁用保護具、防毒マスク等、保護具の種類は多い。夫々の保護具には目的、用途に合わせた種類と規格に合致した性能を備えてなければ販売及び使用が禁止されている。

本稿では人体の中でも取り分け重要な頭部を守る保護具＝保護帽について解説する。

保護帽は国家規格(昭和50年労働省告示第66号)に基づく検定が実施されていますので、着用する際には、又は選択する際にはその合格標章の確認をすることが肝心です。



〔1〕保護帽の種類

保護帽は国の基準で目的に応じて下記のように分類されている。

(1)産業用保護帽

- a. 物の飛来・落下による災害防止用 (A種)
- b. 墜落による災害防止用 (B種)
- c. a. b. を兼用型(AB種)

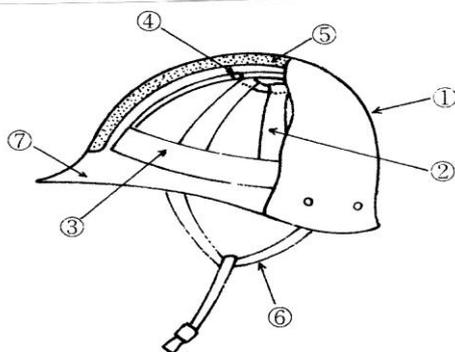
(2)感電防止用保護帽又は絶縁用保護帽

- a. 活戦作業などで頭部感電災害の防止用 (物体の飛来・落下による災害防止も兼ねる)(AE種)
- b. 同上 (墜落による災害防止も兼ねる) (BE種)
- c. 同上 (a. b. 兼用型) (ABE種)

〔2〕保護帽の構造と合格標章

用途によって若干の違いがあるが図のような構造である。墜落用(B種)は帽体内側に衝撃吸収用ライナーが組み込まれている。夫々の用途に見合った帽体の耐貫通性能、衝撃吸収性能、耐電圧性能が確保されているかについて国家検定により確認されている。

下図のような構造であり、各部の名称は ①帽体、
②ハンモック③ヘッドバンド、④環ひも
⑤衝撃吸収ライナー (B種)、⑥あごひも、⑦つば
からなっている。



検定合格標章の例

労 (平 ○ ・ ○) 検	
検定合格番号	H○○○○○
製造者名	○○○○○
製造年月	○○○○○○
用途	飛来・落下物用
帽体材質	ABS樹脂 等々

〔3〕保護帽の使用に際しての留意事項

保護帽は正しく着用しなければ所期の効果が得られませんので、次の点に留意する必要があります。

- (1) 作業者が受ける危険の種類に適応するように保護帽の種類を選択する
- (2) 検定合格番号と用途表示を確認する
- (3) ヘッドバンドとハンモックの調整をする。帽体頂部と頭との間隔は15mm以上離す
- (4) あみだにかぶらない。あごひもは必ず正しく締める
- (5) 一度衝撃を受けたものは、外観に損傷がなくても使用しない
- (6) 塗料の溶剤は帽体の材質を弱めることがあるので勝手に塗装しない
- (7) 帽体には絶対に穴をあけてはならない
- (8) きず、割れ、ひび、まくれなどが認められるものは使用しない
- (9) 装着体(ハンモック、ヘッドバンド、環ひも、あごひも)は時々洗い、適当な時期に交換する。

〔4〕保護帽の取替え時期の目安

- (1) 衝撃を受けた跡が認められるもの
- (2) 擦り傷が多いもの
- (3) 汚れが著しいもの
- (4) ガラス繊維が浮き出してきているもの
- (5) 著しい変色が認められるもの
- (6) 変形しているもの
- (7) あごひもが損傷し著しく汚れているもの、
- (8) この他、絶縁用保護帽には、耐電性能を確保するために使用期間6ヶ月毎に定期自主検査が課せられている(安衛則351条)

〔5〕労働安全衛生規則によって定められた保護帽を着用すべき作業

関係法令	着用対象作業	種類
安衛則 151条の52	最大積載量5ト以上の不整地運搬車の荷の積卸し作業	墜落用
々 151条の74	最大積載量5ト以上の貨物自動車の荷の積卸し作業	墜落用
々 366条	明かり掘削の作業	飛来・落下用
々 412条	採石作業	飛来・落下用
々 435条	はいの上における作業(床面からの高さ2m以上に限る)	墜落用
々 464条	港湾荷役作業	飛来・落下用
々 484条	造林等の作業	飛来・落下用
々 497条	木馬又は雪そりによる運材の作業	飛来・落下用
々 516条	林業架線作業	飛来・落下用
々 517条の10	金属部材で構成される橋梁の架設、解体又は変更の作業 (高さ5m以上又は支間が30m以上である部分に限る)	飛来・落下用
々 517条の19	コンクリート造の工作物の解体・破壊の作業 (その高さが5m以上のものに限る)	飛来・落下用
々 517条の24	橋梁の上部がコンクリート造のもの架設・変更の作業 (高さ5m以上又は支間が30m以上である部分に限る)	飛来・落下用
々 538条	その他、物体の飛来の恐れがある場合での作業	飛来・落下用
々 539条	上方にて同時に作業が行われている場合の下方の作業	飛来・落下用
々 341条～348条	高圧、低圧の活線作業及び活線近接作業	絶縁用

以上